
遊ぼうよ

澄田 康美

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
遊ぼうよ

【Nコード】
N04410

【作者名】
澄田 康美

【あらすじ】
触れる者全てを傷つけてしまうフランドールはある日、決して傷つく事のない、不思議な少年に出会った。

（前書き）

前書き

このお話は、小説って言っより絵本みたいな感じですよ。
どんな年齢でも、ばっちこーいみたいなノリで書きましたので、ま
あご了承くださいいな。
ではどうぞ。

昔々ある所に、とても真つ赤な屋敷がありました

そこに住む人達は、みんな人ではありませんでした。

人もいるにはいるのですが、ほとんどが人ではなかったのです。

その屋敷の主には、可愛い可愛い妹がいました。

しかしその妹は、生まれつき触った物を壊してしまう力を持っていたのです。

その上、その妹は暴れん坊な子だったので、屋敷のみんなは困っていました。

お姉さんでもある屋敷の主は、そんな妹を大事に大事にある部屋にじつとさせていました。

そこでなら、壊れても困る物は何もありませんでした。

妹は長い長い時を、ずっとずっとその部屋で過ごしました。

ある日、その妹の前に、透き通ったような姿をした少年が訪れました。

妹は、どうやってここに来たの？と、その少年に尋ねました。

少年は、僕はどこへでも自由に行けるからだよと答えました。

その後、妹は、なぜここに来たの？と少年に尋ねました。

少年は、君と遊びたいからと答えました。

妹はうれしくなって、喜びました。

しかし、妹は喜んだ後で、怖くなってしまいました。

また私は、傷つけてしまうのではないかと思ったのです。

不安になっている所に、少年が妹のお手をぎゅっとにぎりました。

握った少年の手は、まったく壊れる事がなかったのです。

その夜、妹は少年に連れられて、お外へとお出かけしました。

月明かりが綺麗な夜に、妖精達がお庭を飛びかっていました。

それに合わせて、二人は楽しそうに踊りました。

妹は、とても楽しい時間を過ごしました。

でも、楽しい時間はすぐに過ぎ去っていきました。

別れる時間が来た時、少年は妹にばいばいと言って、おうちに帰ろうとしました。

しかし、妹はばいばいしたくないと、少年の腕をぎゅっと掴みました。

そうです。妹はもっともつと遊びたかったのです。

しかし、少年はこれ以上ここにいられません。

それでも、妹はもっともつと遊びたいのです。

少しすると、少年の体から光の粒がお空へと昇っていくように出てきました。

すると、少年の体が見る見る内に消えていってしまうのです。

妹はどうにかしようと思いましたが、彼女の手は壊す事しか出来ません。

掴んでいた腕も消えて、とうとう少年は顔だけになってしまったのです。

顔だけになった少年が、最後にぽつりと言いました。

もっとみんなと仲良くしようね。

そう言う少年は、妹の前から完全に消えてしまいました。

その後に、妹はわんわん泣き出しました。

屋敷中に起きているみんなを起こす程の大きな声で、わんわん泣きました。

妹が泣いている所に、お姉ちゃんが慰めにきました。

しかし、それでも妹はまったく泣き止みそうにありません。

お姉ちゃんが、顔だけでも上げてと言ったので、妹は泣いたまま顔をあげました。

すると、妹の目の前に、さっきの少年がいたのです。

妹は何が起こっているのか、さっぱりわかりませんでした。

その時、この屋敷の魔法使いさんが、こんな事を言ってきました。

その少年は、あなたへの誕生日プレゼントよ。

その一言で、妹は全てわかってしまいました。

そうです。少年は屋敷のみんなが作ってくれた、妹へのプレゼントだったのです。

それがわかった時、妹は少年の手を握り、今まで生きていた中で一番の笑顔になりました。

みんなみんな、妹の誕生日を祝う為に起きて、屋敷は大賑わいになりましたとき。めでたしめでたし。

遊ぼうよ F I N

（後書き）

後書き

えーっと・・・まあ、やりたかっただけです（＾―＾）

にしてもこの話、短いですね・・・まあ、この形で長く書いても仕方ないでしょうし、これぐらいが丁度いいと思いました。

フランはもっと子供キャラでいるべきだと思っんですけど、見てくれたあなたはどう思いますか？

ですので、この話では無邪気で楽しそうなフランを出してみたんです。

ぶっちゃけると、最後の辺りで作者泣きかけました。てか泣きました。本当に。

こんな形で書くのは初めてです。こうやって書いた理由は・・・秘密です（#＾―＾#）

スペシャルサンクス

フランドール・スカーレット様

レミリア・スカーレット様

不思議な少年

妖精達

パチユリー・ノーレッジ様

紅魔館にいる他全員

では、このような稚拙な文章をお読みいただき、真にありがとうございました。

b y 澄田 康美

P S、他にも短編一杯ありますので、気になった物とかあったらどうぞ (^ー^)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0441o/>

遊ぼうよ

2010年10月28日04時25分発行